

タウンミーティング（飯岡地区） 開催報告

- 日 時 令和元年 10 月 3 日（木） 午後 7 時 30 分から
- 場 所 飯岡公民館
- 参 加 者 飯岡校区連合自治会長、飯岡小学校長、西条東中学校長、飯岡文化財愛護会長、飯岡福寿会会長、防犯協会飯岡支部長、飯岡婦人会長、飯岡地区民生児童委員協議会長、青少年健全育成協議会長、消防団飯岡分団長、飯岡小学校 P T A 会長、飯岡連合自治会副会長、飯岡校区連合自治会体育部長、愛護班連絡協議会長、交通安全協会飯岡支部長、健康づくり推進員連絡協議会長、市長、経営戦略部長、市民協働推進課長、協働推進係長、シティブロモーション推進課長、広聴係長
- 傍 聴 者 18 人
- 次 第
 - 1 開会
 - 2 挨拶（飯岡校区連合自治会長）
 - 3 挨拶（市長）
 - 4 市の主要事業について《市提案》
 - (1) 主要事業の説明(市長)
 - 5 地域課題①「これからの地域づくり」について《市提案》
 - (1) 課題等の経過等内容説明（協働推進課長）
 - 6 地域課題②「住みやすい地域づくり」について《地域提案》
 - (1) 意見交換
 - 7 まとめ・閉会
 - (1) まとめ（市長）
 - (2) 挨拶(飯岡校区連合自治会副会長)

○会 議 録

1 挨拶

【公民館長】

本日はお忙しい中お集まりいただき感謝する。皆様の忌憚のないご意見をいただきたいと思うのでよろしくお願ひしたい。本日の会議の様子は議事録含めホームページ等で公表予定のためカメラ等で撮影させていただくことをご了承いただきたい。

【連合自治会長】

皆様こんばんは。このミーティングは西条市連合自治会と市が主催して開催している。市長に来ていただき、市の現状や今後の方針などの説明をいただいたうえで、地域住民と市と一緒に地域の課題について話し合いを持つことで、私たちの声を生かした愛着の持てる地域づくりを目指したいと考えている。

タウンミーティングを開催するにあたり 9 月 10 日に事前に会を開き、地域づくりの説明と地域の代表から課題を提出していただいたが、その中から「これからの地域づくり」と「住みやすい地域づくり」について話し合いたい。

今日は市長を交えて地域課題を地域の皆様で話し合い、共有したうえで、次回に繋がる会議にしたいので協力をお願いしたい。

【市長】

本日は、飯岡校区のタウンミーティングにお集まりいただき感謝する。

タウンミーティングは 6 月 22 日からスタートして約 5 か月間で 28 地区をまわる。皆様の地区からいただいた意見を次年度の予算に反映できるものはしたいと思っている。タウンミーティングは前市長からやってきた取り組みで、まだ手探りの状態ではあるが今回こういった形で開催させていただいた。

今、地域の課題を解決するためには、皆様と行政が協働でまちづくりをしないといけない時代がきていると考えている。今日の話し合いを皮切りに、市としても皆様の課題解決に向けて伴走していきたい。今日は自分が取り組んできた課題を披露しながら、課題解決に向けて市の提案を申し上げたい。加えて、皆様の要望を聞く形で進めてまいりたい。

2 市の主要事業について

(1) 主要事業の説明

【市長】(参照別紙資料(1))

3 地域課題①「これからの地域づくり」について

(1) 課題等の経緯等内容説明

【推進協働係長】(参照別紙資料(2))

4 地域課題②「住みやすい地域づくり」について

(1) 意見交換

【参加者】

元々飯岡校区は自治力があり、色々な活動をさせてもらっているがすごく魅力のある校区だと考えている。私自身飯岡に惚れ込んで飯岡にきた。先輩方が築きあげてきたものがあり、引き続きやっていきたいと考えている。

人口の問題があり、次の担い手の問題がある。皆さんに参加していただくことが重要と考えている。

P T Aでは学校で親父が参加する会などに参加しているが、そういったところに参加してくれる若い人を呼ぶことが、今後のやり方なのかなと考えている。

【参加者】

昨年度より飯岡で空き家の調査をしているが、植木が道路にはみでているとか、門扉がないので人が出入りしやすい状態になっているとか、空き家調査とは別の問題がでてきた。そのため、市の危機管理課、環境課、建築審査課と協議させていただいたが、色々な問題がある。それに対応出来る若い人を育てていかないといけない。

オレンジハイツで10年前から自治会の活動をしているが、活動をはじめて3年後くらいに防災士をやってくれと自治会長から頼まれて、オレンジハイツの防災に関する活動を5年間くらいやった。ところが、やればやるほど逆に批判もある。一生懸命やる人を育てないと飯岡には先がない。

オレンジハイツではふれあい大会という150人くらい集まる会があるが、お金がないからやめろと言われる。お金がないならどういう風にやろうか、というような協力体制を整えていけるようしていかななくてはならない。

【司会】

飯岡は運動会がすごい。体育部が熱心に取り組んでいる。人材の担い手のことなど、考えを聞きたい。

【参加者】

体育行事にどうやったら若い方がきてくれるか副部長と考えている。運動会には特に力をいれている。運動会をとおして飯岡って良いところだよなと思っていただきたい。メインは景品だが、それでいかに人を掴めるか。参加者はちょっとずつ増えていると思うが、それが次の世代の担い手になるかどうかはわからない。そこから先も考えていきたい。

【司会】

この場には、体育部長経験者が多いのでは。体育部長を務めると、次は連合自治会副会長といったように人材が循環する仕組みができていけるのでは。

【参加者】

体育部長にしても、連合自治会副会長にしても、するしないではなく、俺がするよとって引き継いだつもり。なにより自分たちが楽しかった、自分が楽しめば、まわりも楽しいだろうなという自分なりの解釈がある。皆さんには、知り合いを増やして欲しいと考えている。知り合いが増えれば生活も良い循環が出来るのかなど。行事が増えて、人数も増えてくると体育部長等にはプレッシャーもある。次どうしたらよいか一緒に考えよう。

【参加者】

運動会に参加しても景品はなかなか当たらないが、楽しい。運動会に参加することで地域の人の顔や名前を憶えていく。人の輪が繋がることは、防災、防犯の面でも大事になる。

飯岡で文化財に関する活動を行っており、飯岡にある史跡や歴史を勉強している。意外に歳を

取った人でも自分のふるさとを知らない。それを学ぶことが楽しいが、だんだん会員が少なくなっている。楽しいと言うだけでなく楽しそうにしているところを見せて口コミで人を増やしていきたい。

加茂の千畳の棚田で史跡巡りの募集をしたら、15～20名くらいの予定が40名も集まった。市には、消えゆく文化財、忘れ行く史跡歴史のことを考えてほしい。

【参加者】

後継者の育成が難しい。福祉関係は飯岡に限らず男性の参加者が少ない。男性は2割くらいしかいない。どうしたら男性に参加してもらえるかが悩みの種である。住みよい飯岡作りには口コミが効果的だと思う。長く飯岡に住んでいる方には横のつながりをもって欲しい。福寿会にしても女性ばかり。男性が入る方法を一緒に考えたい。

【参加者】

何日も前から敬老会の準備をして不安なときがあった。そこで定例会の連合自治会で、勇気をだして手伝って欲しいと発言した。そうすると、片付けなら来れるよと言ってくれる方がいた。リーダーとなる人は勇気をだしたり、考えたり、皆を引っ張っていく工夫が必要。地域のつながりをつくる必要性、仲間として動くことの大切さを学んだ。

【参加者】

市長から経費削減の話があったが、お金がないと行事が小さくなる。今までどおりにしていただきたい。

【市長】

税金、税収を自分の財布に置き換えていただきたい。ここは市民の共通認識としてお願いしないといけない。

今まで通りの行事ができれば今は良い。しかし、皆様の孫が大人になったとき本当にこの街を維持できるのかを考えないといけない。だから行事にも優先順位をつける必要がある。事業が必要かどうか、棚卸もしなければならない。そのため、今までどおりお金を配ることはできない。

以前、75歳以上の方に3000円を配る事業があった。27年度に廃止が決まった後、29年度に市長に着任して、敬老会で「年寄りの楽しみをとって」と言われたが、子どもや孫に使うように工夫をさせてもらいたいと回答しご理解をいただいた。小負担高福祉から中負担中福祉へ。あれもこれもから、あれかこれかへ。そうしないと西条は守れない。

【参加者】

財源には限りがある。財源の使い方に関しては市民が見て感じ取らないといけない。小中学校のエアコンは子どもの命を守るものであり、素晴らしい使い方が高く評価したい。

我々の行事がうまくいっているのは公民館のおかげであり、館長をはじめ、主事2名の計3名でよくやっている。ただ、公民館のお金はどんどん減っている。そのような中、公民館には工夫してやりなさいという指示が出ていると聞いている。予算は限られているが、公民館が工夫して、我々とコミュニケーションをとりながら活動しているからこういう活動もできる。

【市長】

公民館は今まで以上に大切になる。高齢者が公民館にあれば何か情報を得て楽しむことができるようにしたい。経費を削減するところもあるが、最終的には飯岡校区にお任せするといったところまでもっていきたい。財源も権限も一定程度まかせ、人も公民館にはりつけたい。それが、地域づくりの一つの形だと考えている。削減する部分もあるが、付与する部分もあるということをご理解いただきたい。

【参加者】

エアコンが入って快適。子どもたちも喜んでいる。予算の使い方としてありがたい。

棒グラフの中で教育費が突出していたが、その中にスマートスクール実証事業というものがある。全国で5カ所、西条市では、西条東中学校、壬生川小学校、神戸小学校が指定を受け、ICTを活用した実証事業を行っている。学校全体で80台のタブレットが配布され学習している。11月6日には、スマートスクール実証事業に関する大きな発表があるので皆さんには知ってほしい。

ひとつづくりについてだが、小学校のときあれだけ行事があったのに、中学校になったらなくとよく言われる。一つの原因は部活動にあり、なかなか自由な時間がとれなくなっている。しかし、部活動には色々な意味で教育効果がある。昨日まで新人戦だったが、子どもたちも頑張っているので中学校としては大切にしたい。

ただ教職員が大変でブラックだと言われる。スポーツ庁から、週休2日、土日のどちらかは休みなさいといった指針がでている。おかげで少し時間ができたのかなと思う。そのような中で地域の行事と噛み合えば行事に参加しやすくなるのでそのあたりは詰めさせてもらいたい。

高校を卒業した後、西条市を出ていく生徒が多い。そのような中、地域の良さを生徒に伝えていくことが大事だと考えている。

先日、地区別懇談会があり、中学校も参加したがいい学習の場になった。

地元に残って仕事をするという話があったが、今年からジョブチャレンジという中学生の職場体験を、これまでは2日間だったが1週間に延ばした。ジョブチャレンジを受けた生徒は地域に残るといふ県のデータもある。地元には色々な企業があることに気付いてもらうことで残ってくれるのではないかと考えている。一昨年に地域の企業にも受け入れていただいたが、良い社会勉強になったと思う。

【参加者】

小学校での生徒数は381名。遡ると数年前までは700名を超えていた。児童も減るが、教員も減っている。更に教員は年齢が2極化していて、若い世代と高齢の世代の中間層がない。マンパワーが足りなくなってくる可能性があるのも地域の方に助けていただきたい。保護者は働いているので協力したくても出来ない。そのため、助けていただきたい時間に助けていただける地域の人を求めているといかないといけない。これから仕組みづくりをしないといけない。今まで以上に地域の力を借りるとはいえ、学校のみがウィンではうまくいかない。学校と地域の方、保護者の方の双方がウィンウィンに関係にならなければいけない。これからは地域の中の学校づくりが課題になる。

【参加者】

交通に絞って話すが、市の対応はすばらしい。我々としては、対応が遅いと前に進まないが、道路にしても連絡すれば1日も待たず対応してもらっている。道路に穴があいていても、そこまで市の職員がやるのというくらいやってくれる。

私は15年前の台風の被害を受けた。そのとき個人の限界を感じた。行政の協力が必要になる。あれから15年経ち体験者が少なくなっている。体力も厳しくなっている。これからどうするか、若い人の育成や地域の消防団、PTAを抱き込み、高齢者も勉強することが大きな飯岡づくりになる。

子どもの引きこもりが多いが、働き手の引きこもりも多くなっている。そうした人を出すようにしないと人手不足は解消しない。家庭訪問ではないが、市は働き手を表に出すという施策を考えて欲しい。

【参加者】

飯岡生まれ、飯岡育ち、飯岡にはすばらしい先輩がいる。若い力を借りたいので勧誘したり、ここは楽しいよと周りに伝えたい。これからもよろしくお願ひしたい。

【飯岡公民館長】(参照別紙資料(3))

多くのご意見を感謝する。

各団体のその他の要望に対し市から紙面で回答をいただいている。それぞれの回答につき、担当課名及び直通の電話番号を記載しているため、不明な点等は問い合わせさせていただきたい。

5 まとめ・閉会

【市長】

市の職員には、どうしたら出来るか考えようと言っている。

今日のタウンミーティングでは、少し厳しめに発言させてもらった。すべての意見を承ってそのまま返す時代ではなくなってきた。しかしながら縮こまることはよくない。縮こまったらそれ以上は成長しない。

普段、「人材の材は財産の財だ」と言っている。今回のテーマでもある「ひとづくり」は非常に大事。

人生の先輩である高齢者をサポートすることも、後輩のひとづくりであると考えている。

熱い思いを持って、西条市を良くしたい、持続可能なまちづくりをしていきたいと考えている。今日を皮切りに次回へ繋げていきたい。

今日は素晴らしい方々に集まっていた。地域づくりをいつやるのか、そんなに時間はな

いと思っている。一步前へ、一人でも多く仲間を増やさないといけない。ひとつ前へ行く勇気がいる。そのために役所は知らない顔をするわけではない、皆様と一緒に汗を流していくので、今日を皮切りに行政と一緒に協働のまちづくりをお願いしたい。そうは言いながらも足りないところは多々あるので、叱咤激励をいただきながら正していきたい。

この街に住んで良かったという人を一人でも増やしていくことが私の役割であると考えている。引き続きよろしくお願ひ申し上げたい。

【連合自治会副会長】

公民館活動に参加して35年、歴代の館長には本当にお世話になった。

私自身は飯岡小学校の体育部の副部長、飯岡小学校の会長、西条東中学校の会長を務めさせていただいたが、色々な方にお世話になった。

公民館が、私を育ててくれたと思っている。先ほど、地域自治組織の話があったが、飯岡は公民館協力委員会があり、各種団体の横の連携になっている。高齢化が進み後継者の問題はあるが、私自身楽しみがモットーでやってきた。これからも楽しい雰囲気を見せながらやっていきたい。

自主防災にしても横のつながりが一番大事であると考えている。これからも、良い岡と書いて良岡（いいおか）となるよう皆様と飯岡づくりをすすめていきたい。行政の皆様にはご支援、ご協力をお願いしたい。

（閉会）

<タウンミーティングの様子>

